

一般社団法人 広島県資源循環協会
令和7年度「安全大会」次第

主催：広島県資源循環協会・安全衛生委員会

日時：令和7年7月9日（水）13：30～

場所：広島県情報プラザ 地下2階 多目的ホール

1 開 会

2 主催者挨拶

3 来賓祝辞

厚生労働省 広島労働局労働基準部健康安全課 三角昭生課長補佐

4 令和7年度「労働安全衛生表彰」

5 令和7年度「安全標語」入選作品発表・表彰

6 講演会

テーマ：「労働安全衛生の徹底について」

厚生労働省 広島労働局労働基準部健康安全課 三角昭生課長補佐

～ 休 憩 ～

7 事例発表

テーマ：安全への取り組みについて

丸本鋼材株式会社 石岡 史亘 氏

8 安全用品紹介

(1) 株式会社グリーンクロス

(2) トライシクル株式会社

(3) オオスカ工業株式会社

9 安全宣言

10 閉 会

令和7年度「安全標語」入選作品

【最優秀賞】（1点）

急ぐな 焦るな 忘れるな 事前準備とこころの準備

(株)オガワエコノス よこやま横山 ともかず友和 さん

【優秀賞】（2点）

事故招く 急ぐ慌てる 自己判断 チームワークで築くゼロ災害

開発肥料(株) いまむら今村 ともあき智明 さん

危ないぞ 慣れと油断が事故のもと 初心に戻って安全作業

(株)大前工務店 たかた高田 ひでみ豪巳 さん

【佳作】（4点）

小さな「ヒヤリ」を見逃さず みんなの目で摘み取る危険の芽

丸伸企業(株) おだ小田 りゅうじ竜司 さん

おこた怠るな 安全管理に健康管理 みんなでつくる かいてきしよくば快適職場

みいけてっこうしょ(株)御池鐵工所 こうの河野 りょうた良太 さん

確認しよう安全を 責任持とう行動に かくとく獲得しよう安心・安全・明るい未来

(株)瀬野川総業 こはら小原 かずし一志 さん

まず自分！ 次は仲間でもう一度！ ダブルチェックで防ぐ事故

泉産業(株) しげなが重永 こうじ幸二 さん

令和 7 年度 労働安全衛生表彰受賞者

優良従事者

(敬称略 50 音順)

氏 名	会 社 名
峰 松 浩 三	株式会社オガワエコノス
村 上 猛	三平興業株式会社
村 上 義 雄	株式会社こっこー

優良事業所

事業所名	業 種
東広商事株式会社	処分・収集運搬

安 全 宣 言

一般社団法人広島県資源循環協会の会員一同は、エッセンシャルワーカーとして、日々排出される産業廃棄物の適正処理及び資源循環の事業や業務を通じて、地域産業の発展と安全・安心な地域づくりに貢献しています。

そうした中、産業廃棄物処理業全体における労働災害による死亡者数及び休業4日以上の死傷災害は、近年、増加傾向にあります。また、健康をめぐる状況は、仕事や生活に関する強い不安や悩み、ストレスを感じている労働者も多くおられます。労働災害のない安心して働ける職場環境の実現は、働く者すべての願いであり、企業の社会的使命でもあります。

当協会は、協会と会員が一体となった各種の取組を一層進めるため、令和5年7月に第3次「労働災害防止計画」を策定しました。この計画では、令和9年における死亡災害を「ゼロ」にする、休業4日以上の死傷災害を34人以下にする、という目標を設定し、その達成に向けて取組を進めてまいります。

具体的には、①会員企業経営者の強いリーダーシップの下、経営者トップによる所信表明を行う。②安全衛生規程を作成している会員企業数を増加させる。③当業界において発生数の多い墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、転倒の件数を減少させる。ことを重点実施事項として推進してまいります。

本日の大会は、関係者の参集の下、最新の取組や情報を共有し、学び、交流する場でありま

す。

労働災害は、当事者だけでなく、その家族にも影響を与える深刻な問題であり、企業の運営にも重大な支障を及ぼす社会的損失です。

【一同唱和】

我々会員一同は、こうした共通認識の下、それぞれ自覚と責任を持って、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにするとともに、日々の業務の中で安全衛生活動の充実と安全衛生意識の醸成に取り組んでいくことを、ここに宣言いたします。

令和7年7月9日

一般社団法人 広島県資源循環協会

第98回全国安全週間を迎えるにあたって

全国産業資源循環連合会 会長メッセージ

令和7年度全国安全週間にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

令和7年度の全国安全週間は、「多様な仲間と築く安全未来の職場」をスローガンとし、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的に7月1日から7月7日まで実施されます。

さて、産業廃棄物処理業における労働災害は、死亡者数が令和3年16人、令和4年15人と減少傾向にありましたが、令和5年では17人と微増しています。

一方、労働災害による休業4日以上の死傷者数は令和3年1416人、令和4年1524人、令和5年1526人と依然として他産業に比べて高い状況が続いています。

このような状況に対処するため、連合会では第3次労働災害防止計画（期間：令和5年度～令和9年度）を策定し、令和7年度は三年目になります。

第3次労働災害防止計画では以下の事項を重点項目と定め、事業者様に実施を求めています。

(1) 経営者の意識改革

(2) 労働災害防止活動の推進

①安全衛生規程の作成及び実施

②当業界において発生数の多い労働災害（例：「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」、「転倒」）を撲滅させる。

当業界において、「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」、「転倒」による災害が全体の半数を占めております。死傷災害・死亡災害共に多く、注意が必要です。連合会が作成した「産業廃棄物処理業におけるモデル安全衛生規程及び解説」を活用していただき、全国安全週間を契機として、第3次労働災害防止計画の重点事項の実施をより確実なものとし、災害の防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

令和7年6月

公益社団法人 全国産業資源循環連合会

会長 永井 良一